

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法に基づく原価法によっている。

消耗品・・・最終仕入原価法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の前期末残高、当期末残高及びその残高は、次の通りである。

科目	取得価格	前期末残高	当期末残高	増減額
基本財産				
定期預金(基本)	—	2,000,000	2,000,000	0
投資信託1	60,000,000	32,552,774	33,291,132	738,358
投資信託2	50,000,000	32,085,781	31,636,001	-449,780
合計	110,000,000	66,638,555	66,927,133	288,578

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金(基本)	2,000,000		(2,000,000)	
投資信託1	33,291,132		(33,291,132)	
投資信託2	31,636,001		(31,636,001)	
合計	66,927,133		(66,927,133)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期期末高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期期末高は、次の通りである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品	194,741	194,741	0
合 計	194,741	194,741	0